

指定棚田地域振興活動計画

作成主体の名称：上山棚田地域振興協議会

1 指定棚田地域振興活動を通じて保全を図る棚田等に関する事項（棚田等の名称及び範囲）

上山棚田

範囲については、別添 1 のとおり。

2 指定棚田地域振興活動の目標

（１）棚田等の保全

- ・耕作放棄の防止・削減

令和 11 年度まで上山棚田における農地管理面積 14ha の現状を維持する。

- ・担い手の確保

令和 11 年度までに上山棚田の保全に取り組む関係人口を 250 人から 300 人に増加させる。

- ・生産性・付加価値の向上

令和 11 年度までに上山棚田における水路及び農道の整備を計画的に進める。

（２）棚田等の保全を通じた多面にわたる機能の維持・発揮

- ・農産物の販売促進

令和 11 年度までに棚田米の販売量を 2.0t から 2.5t に増加させる。

- ・良好な景観の形成

良好な景観維持のため市道沿いの草刈り、年 1 回粗放的管理する農地を選定し、管理を実施する。

- ・伝統文化の継承

上山棚田において催される獅子舞などの伝統文化の継承を図るため、現在実施している年 2 回の活動を継続する。

- ・集落機能の維持

地域住民による相互協力や交流の場とする為、年 1 回以上のサロン等を実施する。

（３）棚田を核とした棚田地域の振興

- ・棚田における都市農村交流を通じた関係人口の創出・拡大による地域振興

上山棚田で農村交流体験イベントや収穫祭などを年間 6 回開催し、年間 1,000 人の参加者を確保する。

- ・棚田を観光資源とした地域振興

令和 11 年度までに上山棚田地域における年間 300 人の宿泊者をを目指す。

- ・棚田米等を活用した 6 次産業化の推進

令和 11 年度までに棚田米を原料とした加工品（玄米コーヒー、麴商品など）の取扱店舗を 5 店舗に増加させる

3 計画期間

認定の月～令和12年3月末

4 各年度において行う指定棚田地域振興活動の内容及び実施主体に関する事項

(1) 指定棚田地域振興活動の内容

以下の指定棚田地域振興活動について、別添2の工程表に基づき実施することとする。

①棚田等の保全

・耕作放棄の防止・削減

ボランティア等を活用しながら、上山棚田の耕作放棄地の拡大防止及び減少に取り組む。

・担い手の確保

これまでも地元へ定着した例のある地域おこし協力隊制度等を活用しながら、現在行っている田植え、稲刈りなどの農作業イベントのほか、夏祭りや秋祭り（収穫祭）などを通じて上山棚田における棚田の保全や棚田における農業をPRし担い手の確保を推進する。

・生産性・付加価値の向上

多面的機能支払交付金等を活用し、棚田の機能維持に不可欠な水路や農道等の維持管理、補修を行い施設の改善を図る。

②棚田等の保全を通じた多面にわたる機能の維持・発揮

・農産物の販売促進

棚田米のブランド化による販路拡大を継続し、令和11年度までに棚田米の販売量を2.0tから2.5tに増加させる。

・良好な景観の形成

良好な景観維持のため、地域内の市道沿いの草刈りや、粗放的管理する農地を選定し、計画的に管理を実施する。

・伝統文化の継承

上山棚田において催される獅子舞などの伝統文化の継承を図るため、現在実施している年2回の活動を継続する。

・集落機能の維持

高齢化の進む当地域において集落機能を維持していくことが重要である為、住民同士の相互協力や交流の場としてのサロン等を開催する。

③棚田を核とした棚田地域の振興

・棚田における都市農村交流を通じた関係人口の創出・拡大による地域振興

上山棚田で農村交流体験イベントや収穫祭などを年間6回開催し、年間1,000人の参加者を確保する。

・棚田を観光資源とした地域振興

令和11年度までに上山棚田地域における年間300人の宿泊者を目指す。

・棚田米等を活用した6次産業化の推進

令和 11 年度までに棚田米を原料とした加工品（玄米コーヒー、麴商品など）の取扱店舗を 5 店舗に増加させる。

（２）指定棚田地域振興活動の実施主体

上記（１）に掲げる指定棚田地域振興活動の実施主体は、主に下記 5 の指定棚田地域振興協議会の参加者である。

5 指定棚田地域振興協議会に参加する者の名称又は氏名

英田上山棚田地域振興協議会は、美作市、農業者、地域住民、NPO 法人で構成。参加者の名称又は氏名については、別紙のとおり。

6 その他指定棚田地域振興活動に関し必要な事項

NPO 法人英田上山棚田団の活動を通して協議会参加者以外にも棚田振興に意欲的に関わってくれている団体がおり、上記に掲げる目標達成に向けて協力体制をつくっている。そこには、大芦高原温泉「雲海」、大芦高原キャンプ場、農機具メーカー、観光ツアー会社、大学や専門学校などの学校法人、飲食業等、様々な分野、業種の団体等からの協力をいただいております、当棚田地域の振興のさらなる発展を目指す。